

風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>

深い学び、そして笑顔へ

園長 小島 武志

教育目標

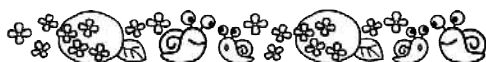
- 元気で明るい子
- よく考え、
すすんで行動する子
- 思いやりのある子

紫陽花の華の紫が日ごとに眩しい季節になりました。園児たちは、毎日元気に笑顔で登園しています。副園長とともに園門に立ち、登園してくる園児に「おはようございます。」とあいさつすると、全員が元気よく「おはようございます。」と返してくれます。中には、立ち止まって、90度のお辞儀をしてあいさつしてくれる園児もいます。近年あいさつができない人が増えているようですが、園門での光景を見ていると、そういう人たちはいつからあいさつができなくなってしまったのだろうと考えてしまいます。あいさつは人間関係を構築する上での最初の一步であり、基本的なことです。

4月に年長のそら組さんとあらかわ遊園へ遠足に行きました。普段遊んでいる狭い園庭と比べ、広いあらかわ遊園で遊べるせいか、みんな目を輝かせ、わくわく感が全身から溢れ出ていました。しかし、お友達と手をつなぎ、2列で乱れることなく歩いていました。日頃の先生方の保育・指導の表れと思います。

好奇心の塊の園児たち、檻の外にいる孔雀に出会うと、みんな近寄って行こうとする。孔雀は羽を震わせて園児たちに近寄っていく。近寄っては逃げ、逃げては近寄る、その繰り返しを楽しんでいるかみんなきゃっきゃと飛び跳ねていました。いもむしコースター、豆汽車、メリーゴーランド、モルモットやウサギへのえさやりや抱っこ、すべてが子供たちの興味関心を引くものばかり。

そして、体験が学びに向かう第一歩。担任から聞くと、次の日、園児たちはあらかわ遊園で出会った孔雀の話で持ち切り。そして制作へと。どんな孔雀にしたいか。どうやって作るか。色はどうするか。まさに創造の世界へ。出来上がると、次は豆汽車を作りたい。話はどんどん広がり、とうとう「遊園地を作りたい」まで発展。結果、出店も作り、モルモットふれあい場所も作り、『おぐさくらゆうえんち』の出来上がり。幼児期ならではの友達との、仲間との、先生との対話から発想につながり、創造へと発展していく、まさに「深い学び」の結果だと思えます。形が出来上がれば、成果発表会、たんぼ組さん(年少)とうさぎ組さん(年中)、そして保護者を招待して、遊園地の開園です。誰もが楽しんだ、誰もが笑顔になったひと時です。もちろん園長もです。



6月のねらい

《3歳 たんぼ組》

- ・同じ場にいる友達や一緒にいたい友達に親しみを感じ、関わろうとする。
- ・水や泥に触れて感触や心地よさを味わう。
- ・身の回りのことや自分でできることを行おうとする。

《4歳 うさぎ組》

- ・気の合う友達と互いの思いを出して遊ぶことを楽しむ。
- ・水遊びの約束を知り、水を使って遊ぶ楽しさや心地よさを味わう。

《5歳 そら組》

- ・自分の思いや考えを友達に伝えたり、相手の話を聞いたりし、友達とのつながりを深める。
- ・興味がある遊びにじっくりと取り組み、試したり、工夫したりする楽しさを味わう。

初夏の風の中で遊ぶ 風の子たち！

<年少・たんぽぽ組>

入園してから2か月が経ち、幼稚園の生活にも慣れ、友達の名前を呼んだり、一緒にバックやぬいぐるみを抱っこしてお部屋の周りを歩くお散歩ごっこを楽しんだりしています。

学級では、親子遠足で行った「ぴよぴよちゃん」のまねっこ遊びが大好きな子供たち。片足でケンケンをしたり、うさぎさんのように両手を頭の上にあて、ジャンプしたり、笑顔いっぱい楽しんでいきます。

園庭での遊びでは、みんなで裸足になって砂場で遊んでいます。初めて砂場に入ったとき、「わ〜。」「つめたいね。」など様々なつぶやきがありました。最近はバケツに水と砂を入れて、砂団子や砂コーヒ―牛乳をお皿やカップに入れて教師に「できたよ。」と持ってきてごちそうしてくれます。

今月も一人一人が好きな遊びを見つけ、友達と過ごすことが楽しいと思えるよう援助していきます。

<年中・うさぎ組>

クラスの友達と一緒に過ごすことが大好きな子供たち。好きな遊びの時間では、友達と一緒に広いおうちを作り中に入って遊んだり、友達が持っているものに興味をもち、「それどうやって作ったの?」と声を掛けて教えてもらったりしています。友達と一緒にいると楽しい、友達と同じものをつくったり身に付けたりすることが嬉しい、という気持ちを感じながら遊んでいます。また、「ミックスジュース」や「森のクマさん」のゲームでは、みんなで声を揃えて掛け声を言ったり、友達の動きを見たり一緒に動いたり、友達に声を掛けたりしながら、みんなと遊ぶことも楽しんでいきます。

生活グループを決めたことで、様々な友達と話したり好きな遊びの時間にも関わったりする姿が見られるようになってきました。友達との関わりの中で、相手にどのように自分の思いを伝えたらよいか知らせたり幼児とともに考えたりしながら、様々な友達と共に過ごす楽しさを感じられるよう援助していきます。

<年長・そら組>

年長組になって2か月が経ち、毎朝の係活動も生活の一部になってきました。「カメキチお腹空いているね」と生き物や花に親しみをもち、世話をする姿が見られます。まだスムーズにいかないこともありますが、友達と言葉を掛け合ったり、役割を意識したりしながら取り組んでいけるよう援助していきます。

4月のあらかわ遊園遠足からイメージが広がり、クジャク、豆汽車作りとクラスで話し合いながら作ることを楽しんでできました。「他のクラスの友達やおうちの人にもお客さんになってほしいな。」と『おぐさくらゆうえんち』もオープンして大盛況でした。終わった後に感想を聞くと、「お客さんがニコニコしていて、自分も嬉しくってニコニコしちゃったの。」と話していました。

今月も友達との関わりの中で思いを伝え合いつながりをもとめ、じっくりと遊ぶことができるよう援助していきます。

<プールが始まります>

毎日、検温とお子様の体調を確認していただき、プールカードに記入をお願いいたします。プールカードがない場合、プールには入れません。

風邪の諸症状、嘔吐、下痢、伝染性の病気の疑いがある場合は、無理をせずお休みしてください。

水泳用帽子を被りますので、髪の毛の長いお子様は結んでください。